

時代にまっすぐ、技術にまじめです。

第2四半期決算説明会

日比谷総合設備株式会社

2013年11月15日

【ご注意】本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなくリスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、本資料の予想数値とは異なる可能性があります。

2014年3月期 第2四半期 決算概要

決算概要（連結）

受注高は前期比大幅増。売上高は減収だが、受注好調につき通期では増収に転化
 営業・経常利益は一部工事の採算悪化等により営業損失が拡大したが、
 特別利益の計上により四半期純利益は確保

(単位:億円)

	2011/9 実績	2012/9 実績	2013/9 実績	前期比 (%)
受注高	252.4	319.3	349.8	+9.6%
売上高	228.8	292.0	262.4	▲10.1%
営業利益	▲4.8	1.4	▲9.1	—
経常利益	▲0.0	3.5	▲5.5	—
四半期純利益	▲1.9	2.3	1.1	▲49.6%

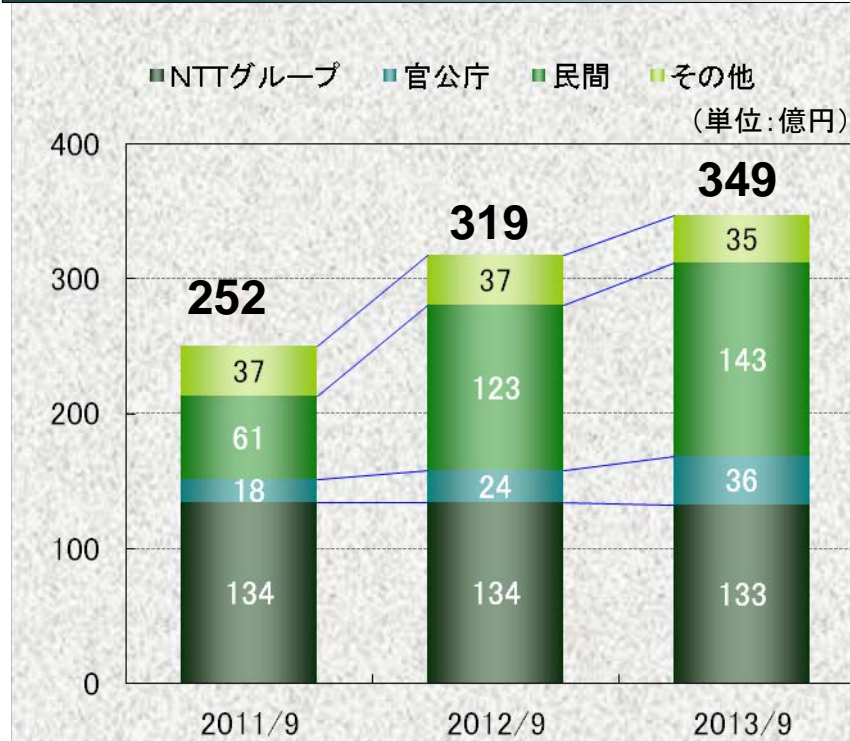
受注高 分野別・顧客別（連結）

注力領域を中心としたソリューション営業の展開により、民間受注は増加

分野別受注高



顧客別受注高



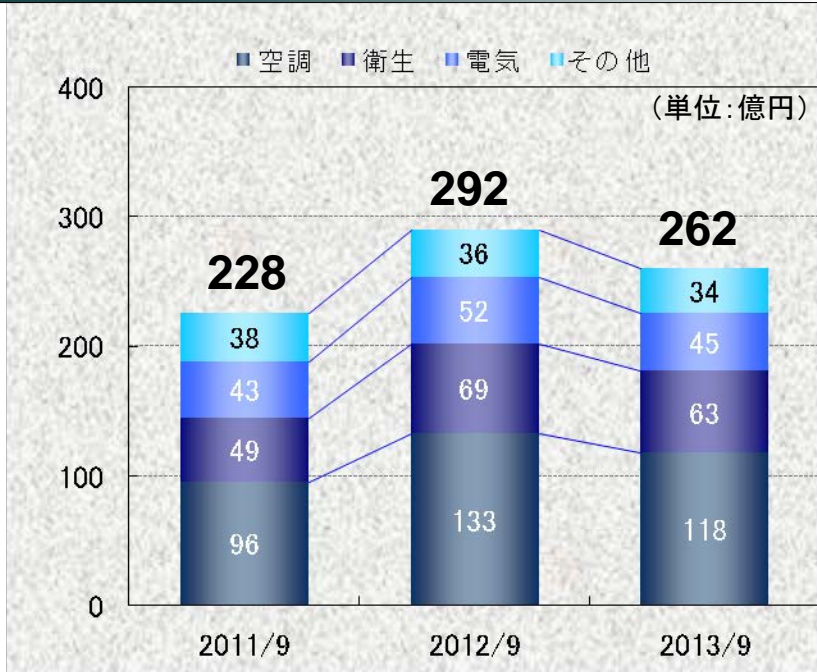
* 受注高その他はグループ会社の受注高

売上高 分野別・顧客別（連結）

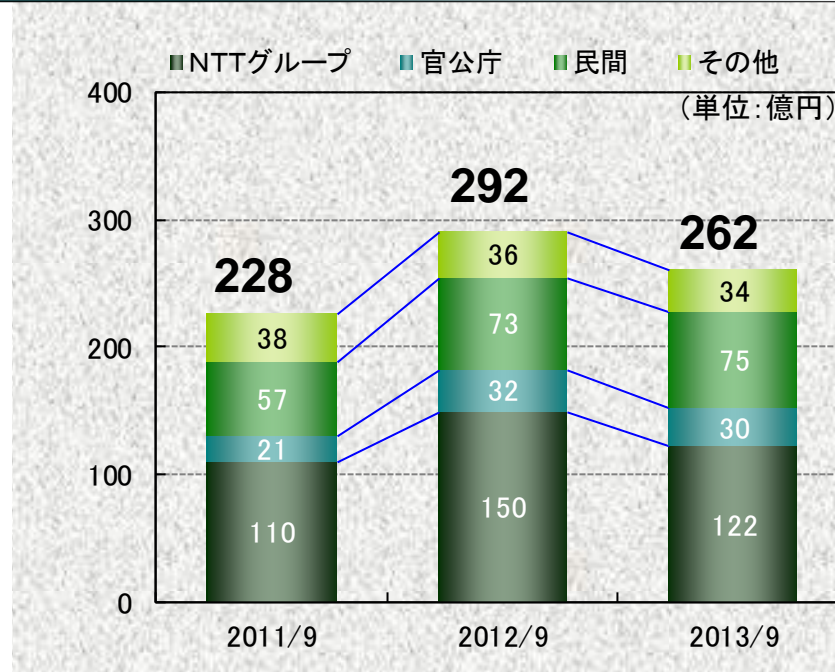


繰越工事完成高が上期に多かった前期との比較では減収であるが、受注好調につき年度通期では増収に転化

分野別売上高



顧客別売上高



* 売上高その他はグループ会社の売上高

損益計算書（連結）

競争激化のなか、原価縮減・販管費削減等を推進し、利益率低下を最小限に抑制

（単位：億円）

	2011/9 実績	2012/9 実績	2013/9 実績
売上高	228.8	292.0	262.4
売上原価	200.4	257.1	237.1
売上総利益	28.3	34.8	25.2
売上総利益率	12.4%	11.9%	※① 9.6%
販管費	33.1	33.3	※② 34.4
営業利益	▲4.8	1.4	▲9.1
営業外収支	4.7	2.0	3.6
経常利益	▲0.0	3.5	▲5.5
特別損益	▲2.1	1.1	※③ 5.5
法人税等	▲0.2	2.3	▲1.1
四半期純利益	▲1.9	2.3	1.1

※①
一部工事の採算低下に伴う工事損失引当金を除けば11.4%

※②
子会社取引先に係る貸倒損失引当金の計上により増加

※③
投資有価証券売却益等

通期業績予想の修正（連結）

年度通期では前期比増収増益の計画を堅持
 （営業・経常利益では当初計画を下方修正 営業利益△4.5億円 経常利益△6.5億円）

（単位：億円）

	第48期 実績	第49期 修正計画	前期比 増減	第49期 当初計画 (中期経営計画 最終年度)
受注高	700	730	30	730
売上高	663	700	37	700
営業利益	20	20.5	0.5	25
経常利益	28	28.5	0.5	35
当期純利益	18	20	2	20

株主還元施策の状況

株主配当金

- 【基本方針】
 - 安定的な株主還元の実施
 - 連結ベースでの純資産配当率(DOE)指標により実施
- 【2014年3月期】
 - 中間配当金は、1株当たり15円
 - 年間配当金は、1株当たり30円（期末配当金は、1株当たり15円を予定）

自己株式の取得・消却

- 【基本方針】
 - 自己株式の取得は、株主還元の一環として引き続き機動的に取り組む
 - 保有株式は、その有効活用を前提に当面消却は実施しない
- 【2014年3月期】

■ 年間取得枠	50万株	5億円
■ 上半期取得実績	22万株	2.23億円

投資有価証券の圧縮

- 資産効率化の観点から、投資有価証券(5銘柄)の売却を実施

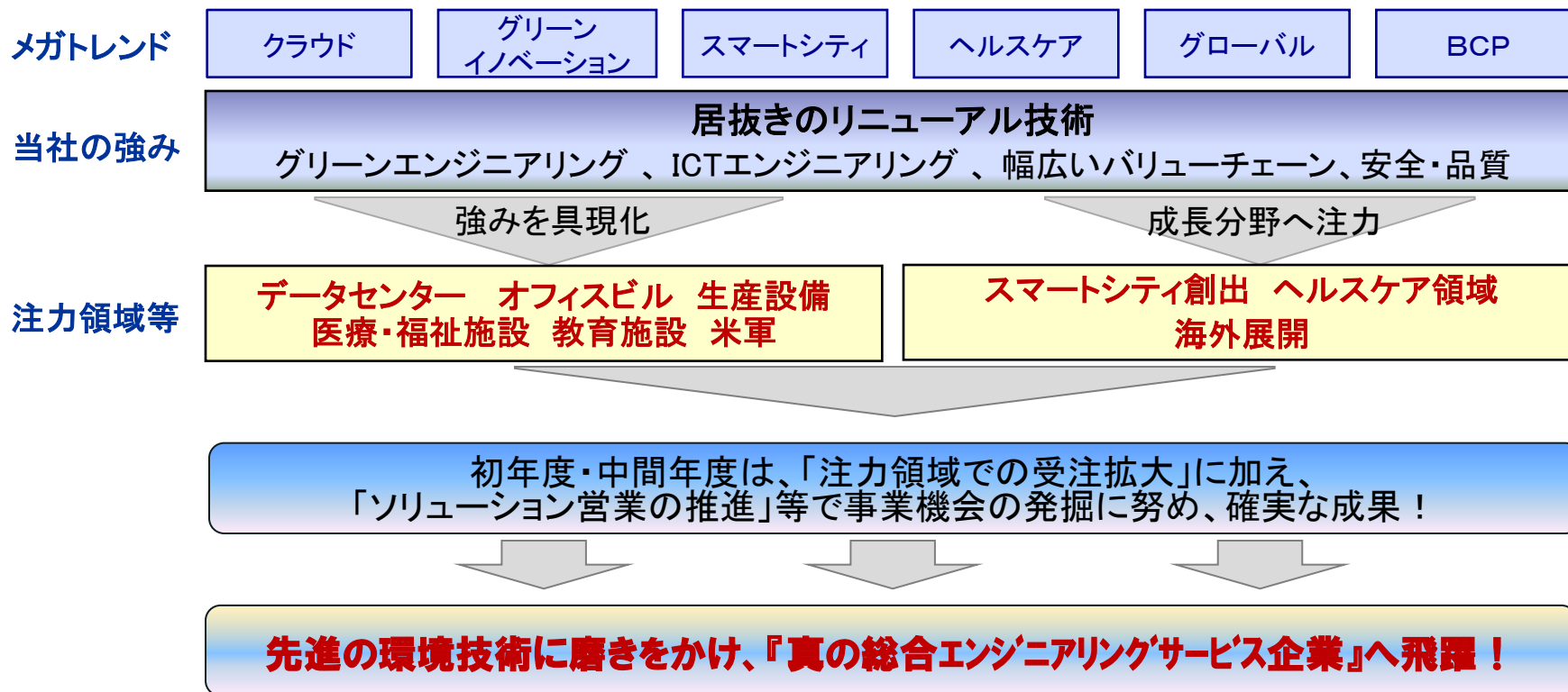
第4次中期経営計画と 上半期重点施策実施状況

①第4次中期経営計画の概要

基本方針

・収益性を維持しつつ、受注量を拡大／新規ビジネスの具現化とさらなる事業機会の発掘

基本戦略



② 主な重点施策

■ メガトレンドを踏まえた顧客基盤の大幅な拡大による受注高の確保

□ **注力領域での受注拡大**

□ **ソリューション営業の推進**

*お客様のニーズを引き出し、当社の強みを活かした提案で共に解決策を見出していく営業スタイル

□ **NTTグループとのコラボレーション営業**

*NTTグループ各社との情報交換・連携営業を強化し、民間市場を開拓

■ 新規ビジネスの具現化に向けた取り組み

■ 海外ビジネスの展開

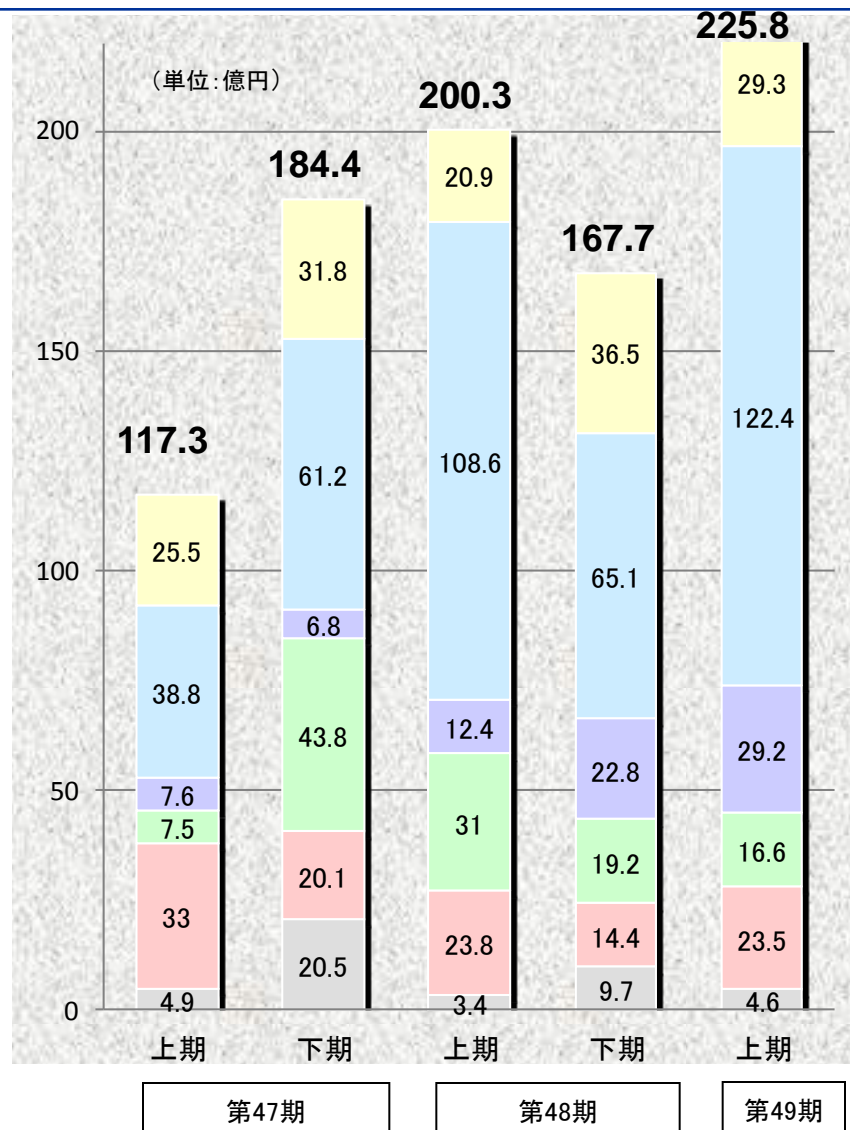
■ 技術戦略の高度化推進等

■ 企業基盤の強化等

注力領域での受注拡大



注力領域	実績
データセンター 29.3億円	道路管制センター新築(愛知) コンテナ型データセンター(石川) NTTグループデータセンター
オフィスビル 122.4億円	大手不動産開発ビル新築(東京) PM会社所有ビル空調改修(東京)
生産設備 29.2億円	水産加工・酒造メーカー新築 (宮城・山口) エネルギー診断からの製薬工場改修 (富山)
医療・福祉施設 16.6億円	民間病院新築(鹿児島) 省エネ提案からの民間病院空調改修 (東京)
教育施設 23.5億円	国立・私立大学新築(東京・兵庫) キャンパス内温泉ガス利用設備 (千葉)
米軍 4.6億円	佐世保基地内寮改修 岩国・座間各基地内各施設



ソリューション営業の推進



ソリューション営業の実績

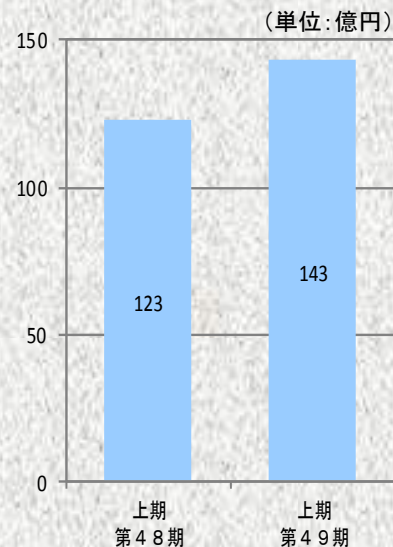
【受注額】 143億円

【受注件数】 661件

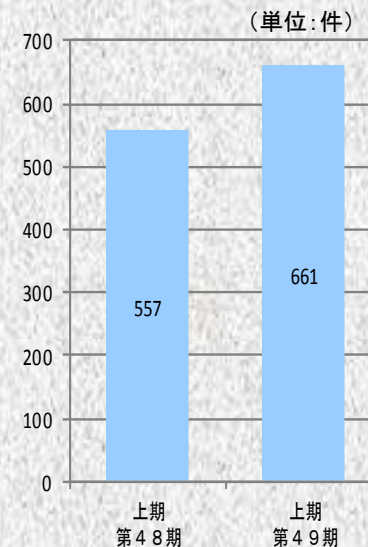
具体的な取り組み

- ◆食品工場生産ライン向け太陽熱利用給湯システム受注(P11ご参照)
- ◆複合レジヤ施設向け総合省エネルギー事業受託(設備診断～改修提案～熱源更改工事・補助金活用)
- ◆NTTグループ各社の投資動向・ニーズに対応した省エネ・高効率化等提案実施
⇒空調・BAS・受変電更改等受注

【ソリューション受注額の推移】



【受注件数の推移】



(※NTTグループからの受注額・件数を含む)



【BAS】



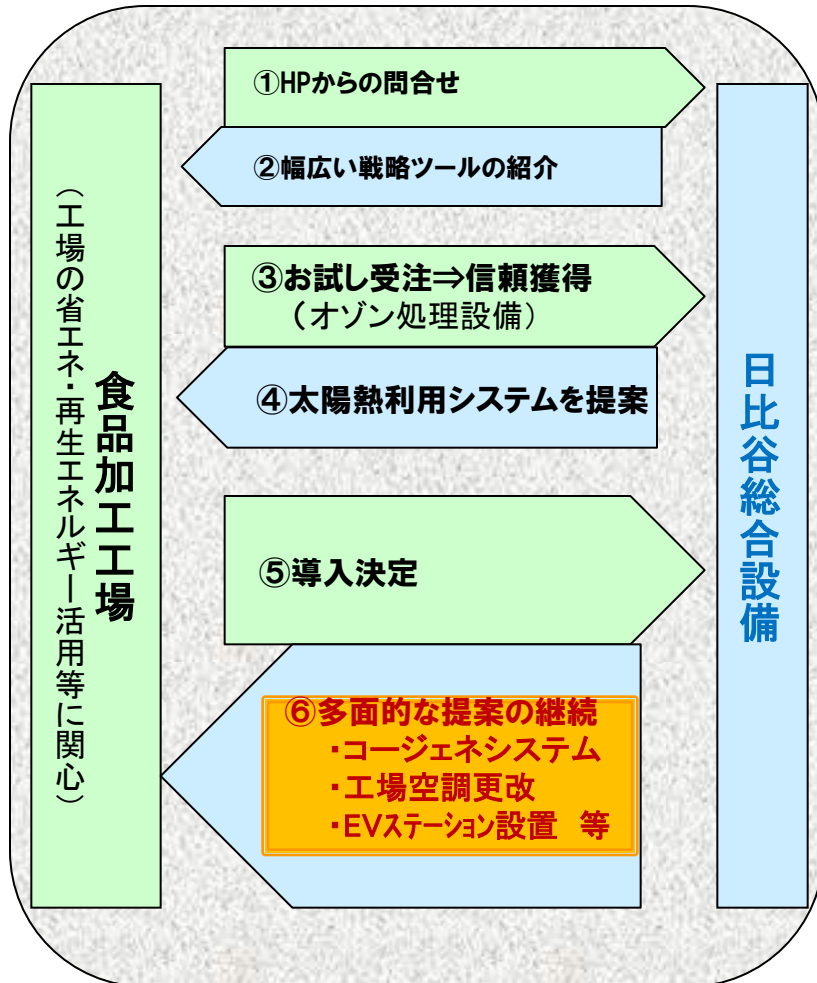
【受変電設備】

ソリューション営業の推進（事例）

食品加工工場への太陽熱利用給湯システム導入事例

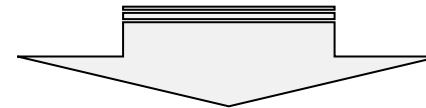


【太陽熱利用システム】

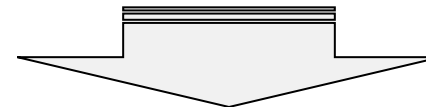


【 受託のポイント 】

- ◆顧客ニーズに沿った省エネ提案・ソリューション営業レベルの高度化
- ◆多彩な先進的環境技術の保有・実績



- ◆【エネルギー運用改善等の更なる提案・取引拡大】
・エネルギーの総合プロデューサーを目指す
⇒ ゴールドカスタマーの創出



- ◆提案スキーム・技術・手法等を他の生産施設へ水平展開！

NTTグループとのコラボレーション営業



NTTコラボレーション営業の実績

【受注額】 41億円
【受注件数】 91件

うち太陽光関連
【受注額】 3.1億円
【受注件数】 8件

具体的な取り組み

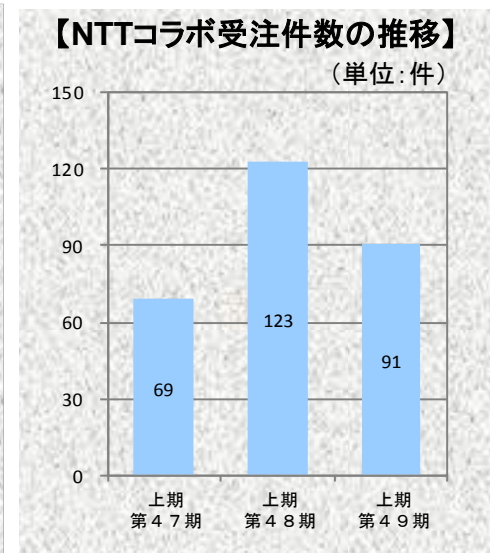
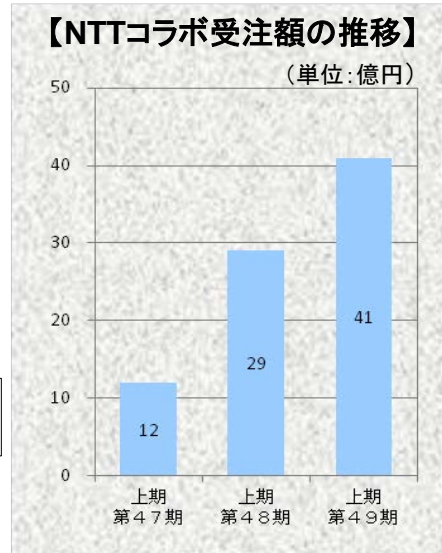
◆某市エコタウンPJ向け「スマート」「エネルギー」
 技術提案(太陽光・太陽熱・BEMS他)

(P13ご参照)

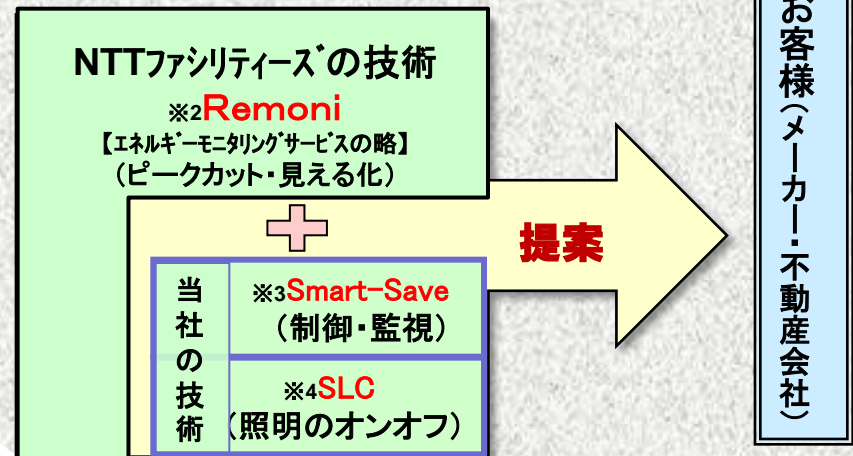
◆環境省が公募した実証事業に※1太陽光
 ハイブリッドが採択(※1NTTファシリティーズと共同開発)

↓
 大手ハウスメーカーPJに導入

◆オフィス系・生産系企業への「エネルギー
 見える化・制御」提案(右記ご参照)
 (※2Remoni・※3Smart-Save・※4SLC)



【Remoni・Smart-Save・SLC セット提案】



某市エコタウンプロジェクト

【プロジェクトの概要】

【総合福祉エリア事業】

福祉施設
(介護・デイケア施設)

【事業コンセプト】

- 太陽光発電の普及・啓発
- エネルギー自給率の向上
- エコタウンプロジェクトの浸透
- 災害時公共施設機能強化 等

【駅前周辺事業】

ステーションビル
(市民活動センター)

【事業コンセプト】

- 太陽光発電の普及・啓発
- エコタウンプロジェクトの浸透
- 電力使用・発電状況の把握 等

①コンセプトに沿った提案の公募

②共同提案

③採択

④実績に基づきアプローチ中

【NTTグループ企業とのコラボレーション】

NTTグループ企業

- ・太陽光発電
- ・リチウムイオン電池等

日比谷総合設備

- ・太陽熱利用
- ・BEMS
- ・デジタルサイネージ等

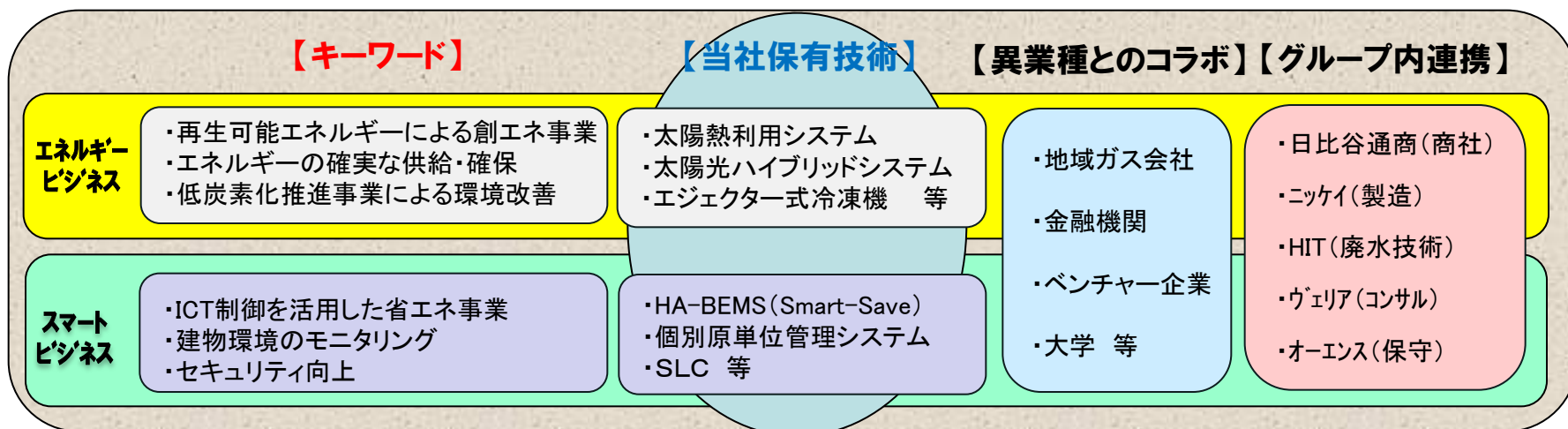
★保有技術の複合化★



【デジタルサイネージを活用した提案】

新規ビジネスの具現化に向けた取り組み

エネルギー・スマートビジネスを積極展開



具体的な取り組み

- ◆ 某市複数施設節電・省エネ事業(BEMS導入)への応募・受託
(P15ご参照)
- ◆ 未利用建物活用による植物工場設置(福井・埼玉)
「イチゴ」に続き「ハーブ」(大学・ベンチャーと連携)(巻末の概要図ご参照)
- ◆ 複合施設向け天然ガス利用コジェネシステムによる給電・熱供給
(沖縄・千葉)(大気放出天然ガスの有効利活用)



【天然ガス利用コジェネシステム】

新規ビジネスの具現化に向けた取り組み（事例）



某市複数施設への節電・省エネ事業受託

【某市プロジェクトの概要】

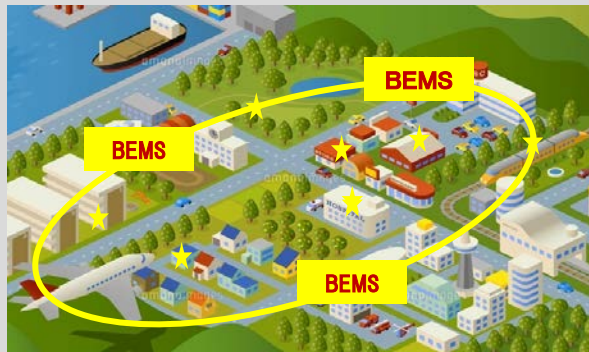
【特定行政区域内における節電・省エネ事業】

市保有20施設

体育館 区役所 博物館等

最も効果的な
BEMS導入
提案を募集

某市



公募

(20施設)

提案

受託

(11施設)

日比谷総合設備㈱
【Smart-Save導入等】



㈱ヴェリア・ラボラトリーズ
【データ分析等】

総合的な省エネ・節電ソリューションの提供

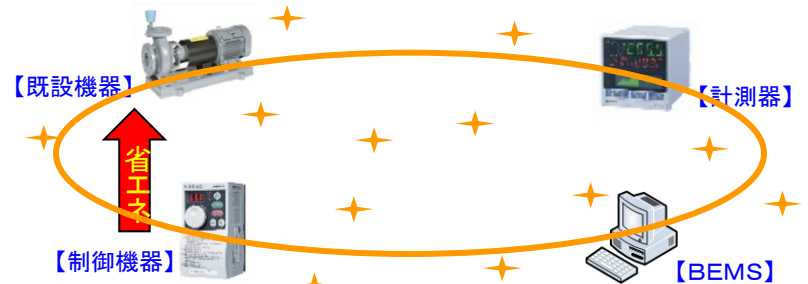
【今回受託範囲】

BEMSを11施設へ導入

- ☆最適な自動制御
- ☆見える化システムの実現

省エネ・節電アドバイス

- ☆エネルギーデータ分析
- ☆チューニングの実施



継続的なサービス

- ☆導入効果の検証
- ☆追加省エネ・節電の提案

更なる展開へ

- ☆市内他施設への導入
- ☆節電対策の水平展開

新規ビジネスの具現化に向けた取り組み（トピックス）



HIBIYA E&S PLAZA (ヒビヤエネルギー & スマートプラザ)

- ◆2013年7月、東京スクエアガーデン・エコテクテン(6F)にオープン
- ◆“Energy & Smart”をキーワードとした当社初の常設展示場
- ◆お客様への提案の場・技術やサービスの情報発信の場・環境への取組の場

「HIBIYA E&S PLAZA」のコンセプト

- ・ 情報と人の集まる“場”
- ・ お客様とのコミュニケーションの“場”
- ・ 省エネ・創エネなどの情報発信の“場”
- ・ 日比谷グループの環境への取り組みをアピールする“場”

展示内容 (2013年11月15日現在) ※

- 太陽光ハイブリッドシステム
- エジェクター式冷凍機
- HA-BEMS
- スマート・ライティング・コントローラ
- EIA

※巻末の「参考資料(技術編)」ご参照



【7/12の開所式】



【第一回目セミナー開催の様子】

海外ビジネスの展開

ベトナムパイロット事業(平成23年度より継続)

- ◆今年度NEDO実証事業に応募(巻末の体制図ご参照)
 - ・複数ホテルへのEMS※導入による省エネ提案(右記ご参照)
- ※EMS:エネルギーマネジメントシステム

NTTグループとのコラボレーション

- ◆タイ現地法人へ技術協力
(NTTファシリティーズ子会社受託のデータセンター)
- ◆省エネ・ソリューションビジネスを協働で推進
(NTTファシリティーズ、ベトナム・シンガポール)

その他の海外関連動向

- ◆太陽熱利用システム見学会・セミナー開催
(JICAより受託、アジアからの研修生対象)
- ◆JICA資金活用の可能性検討
 - ・東南アジアへのESCOビジネス・省エネ技術



【セミナー後の集合写真】

技術戦略の高度化の推進等

新エネ・省エネ技術高度化に向け、戦略的技術開発を継続

◆既存注力技術の更なる高度化

【HA-BEMS(Smart-Save)】

- ・機能拡充・追加に向けた取組

【SLC】

- ・更なるコストダウンと機能拡充

【太陽光ハイブリッドシステム】

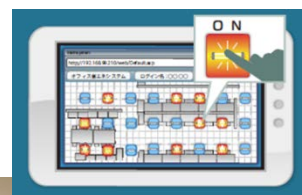
- ・実証実験による更なる機能向上

【エジェクター式冷凍機】

- ・更なるコストダウンと性能の向上を検討



【Smart-Save】



【SLC】



【太陽光ハイブリッドシステム】



【エジェクター式冷凍機】

※巻末の「参考資料(技術編)」ご参照

EMS特許取得

◆EMSによる消費エネルギー削減診断手法に係る特許を取得 (NTT都市開発ビルサービス(株)と共同)

- ・空調立上時刻診断手法
- ・建物の消費エネルギー削減のための外気冷房診断手法
- ・建物の消費エネルギー削減のためのナイトページ診断手法



【特許認定書】

企業基盤の強化

業務効率化の推進と更なる原価縮減

- ◆組織横断的業務改革PTによる、共通業務の抜本的見直と効率化
- ◆優秀事例発表会(本・支店長表彰)による事例・ノウハウの共有
- ◆同種繰り返し工事の施工効率化による大幅な原価縮減
(注力領域、NTTグループ工事等)

グループとの経営基盤強化

- ◆グループ経営会議の設置等グループガバナンス強化
- ◆グループでの研修体系一元化による人材育成の強化

リスクマネジメントの強化

- ◆強固な情報管理体制の構築等
本社・東京本店でISO27001認証登録
⇒今年度中に全国へ展開予定
- ◆安全管理システム※構築完了
(※危険工程を現場とデスクで共有し事故撲滅を目指すシステム)



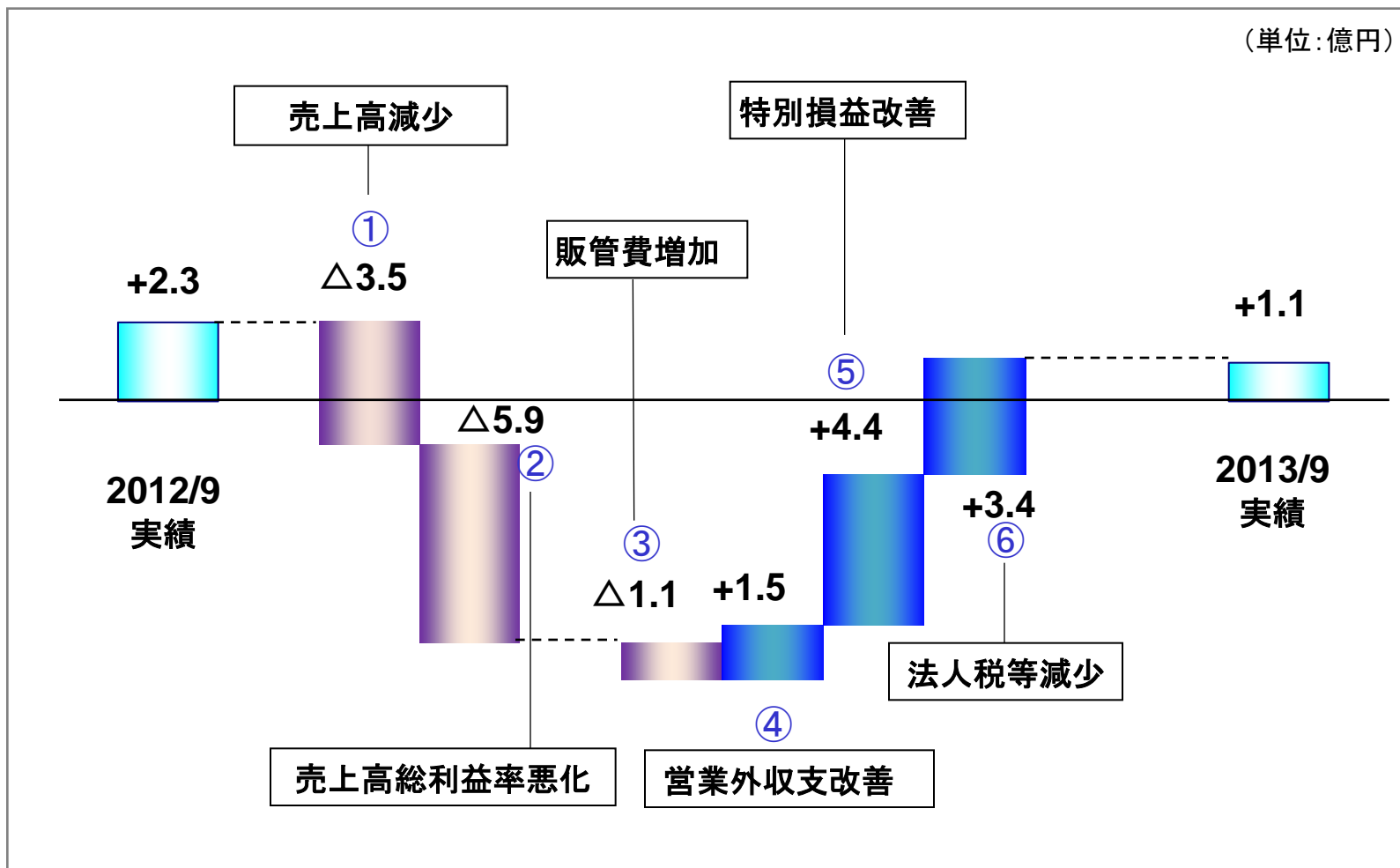
【優秀事例発表会の様子】



【ISO27001認定証】

参考資料(決算編)

四半期純利益増減要因（連結）



決算概要（個別）

(単位:億円)

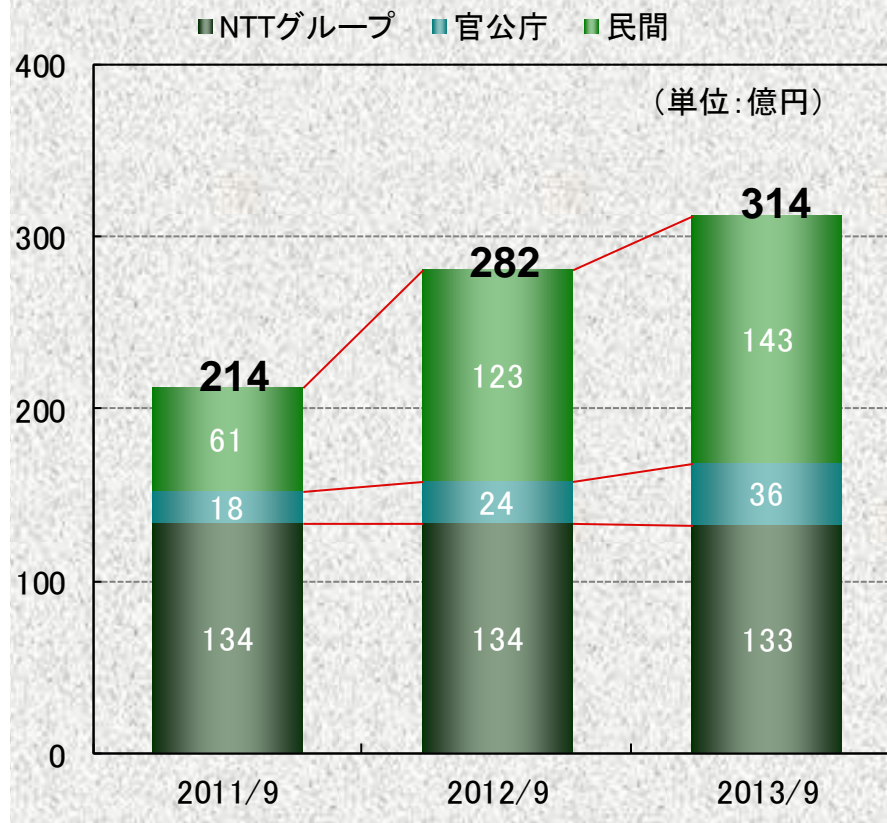
	2011/9 実績	2012/9 実績	2013/9 実績	前期比 (%)	2014/3 計画
受注高	214.6	282.1	314.2	+11.4	620
売上高	190.0	255.9	227.9	▲10.9	600
営業利益	▲6.2	0.1	▲7.0	—	17
経常利益	▲3.1	2.4	▲5.0	—	19
四半期純利益	▲4.0	1.1	0.6	▲47.7	14

受注高 分野別・顧客別（個別）

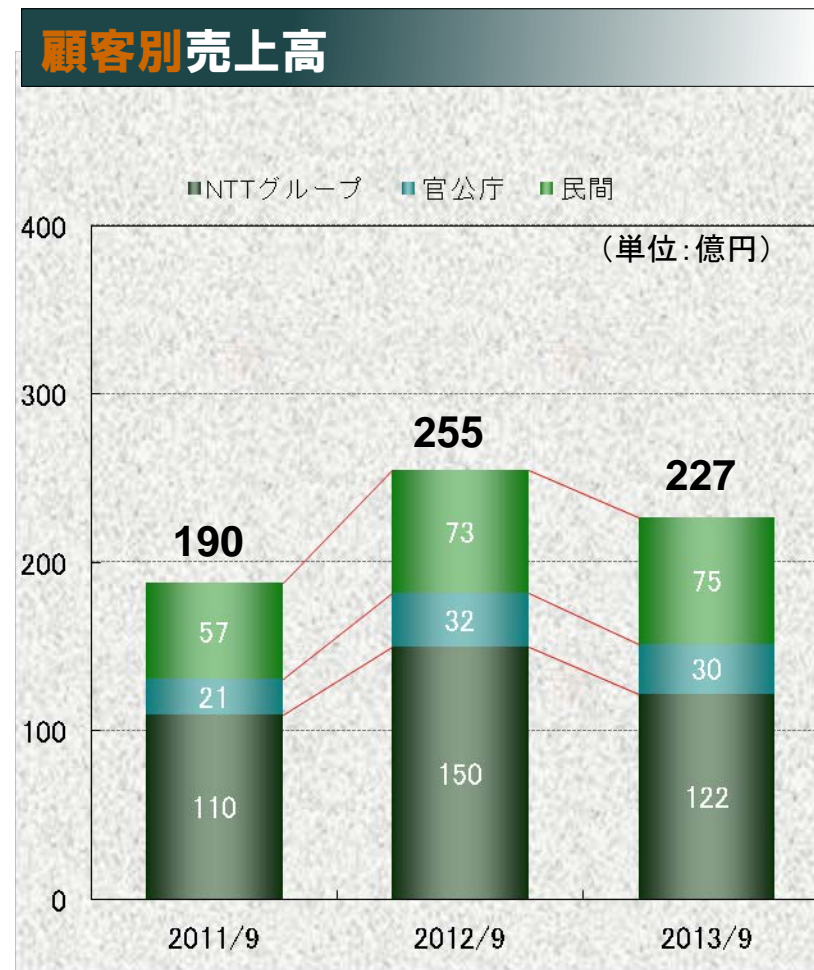
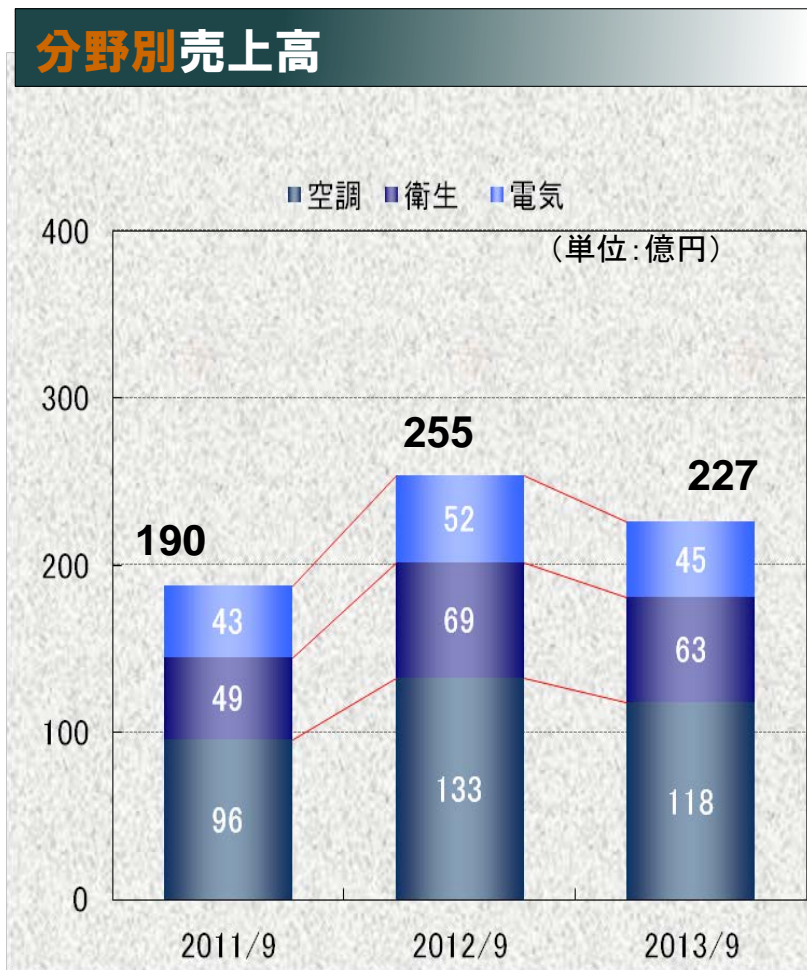
分野別受注高



顧客別受注高



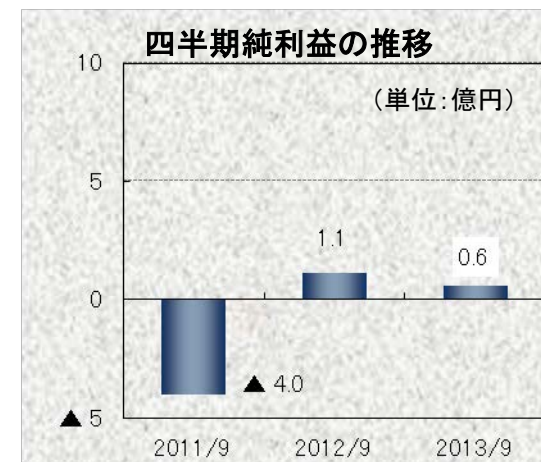
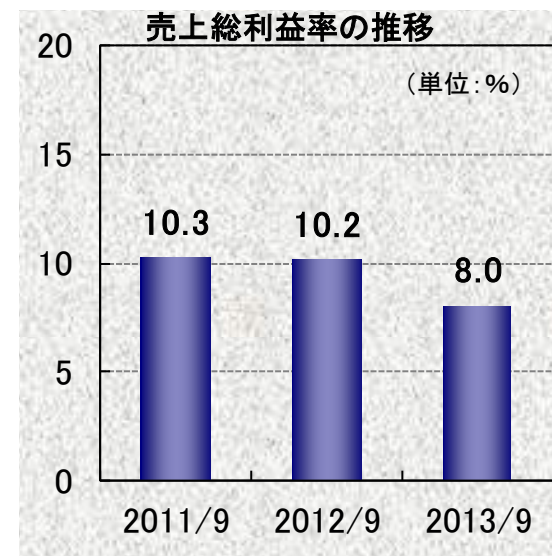
売上高 分野別・顧客別（個別）



損益計算書（個別）

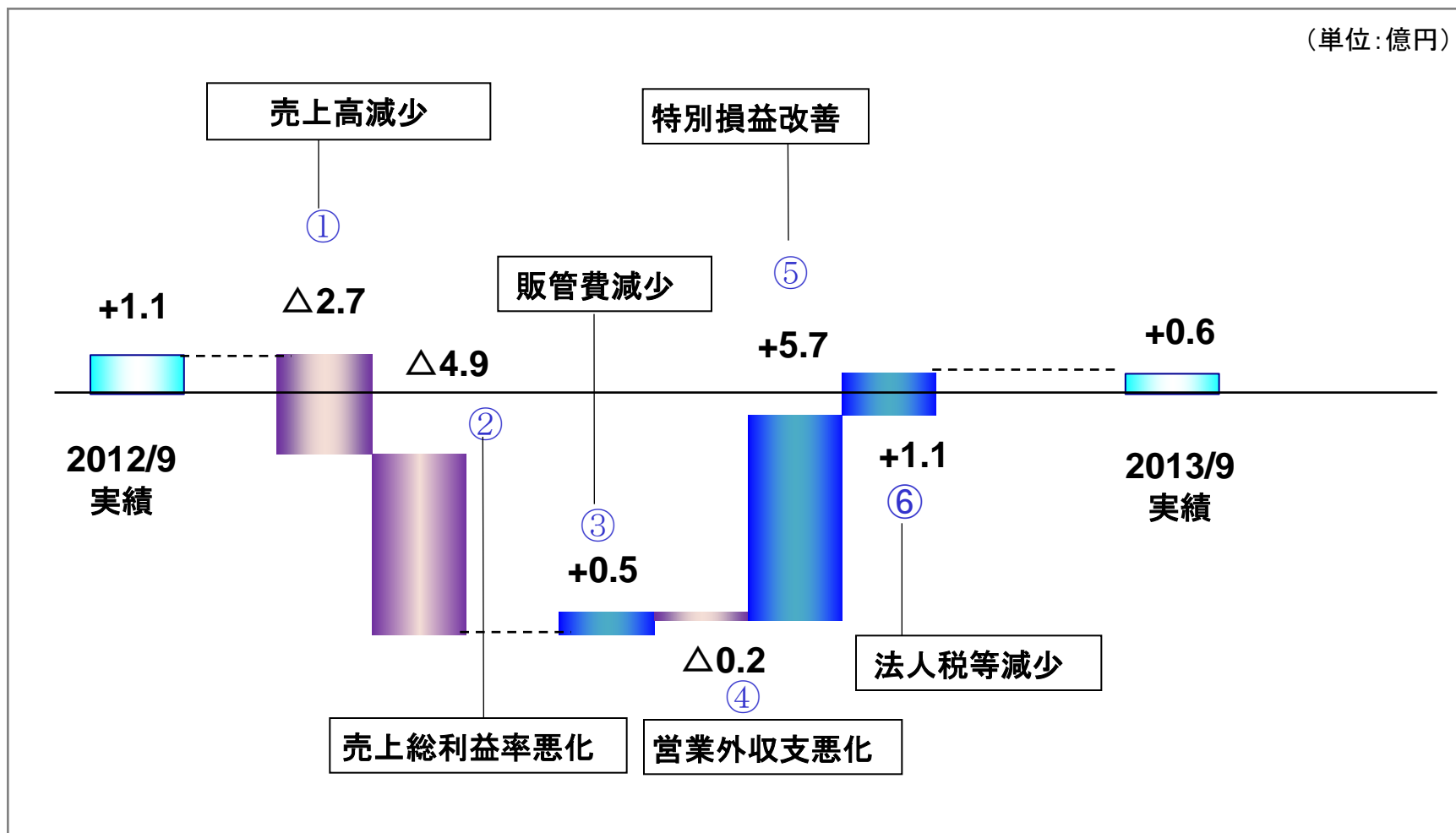
(単位: 億円)

	2011/9 実績	2012/9 実績	2013/9 実績
売上高	190.0	255.9	227.9
売上原価	170.4	229.8	209.7
売上総利益	19.6	26.0	18.2
売上総利益率	10.3%	10.2%	8.0%
販管費	25.8	25.8	25.2
営業利益	▲6.2	0.1	▲7.0
営業外収支	3.0	2.2	2.0
経常利益	▲3.1	2.4	▲5.0
特別損益	▲2.1	▲0.1	5.5
法人税等	▲1.3	1.1	▲0.0
四半期純利益	▲4.0	1.1	0.6



四半期純利益増減要因（個別）

（単位：億円）



参考資料(技術編)

■NTTファシリティーズ社と共同で太陽光ハイブリッドシステム実証実験

【導入メリット】

- ・ 太陽エネルギー総合変換効率が40%以上向上
- ・ 太陽電池の温度上昇による発電損失の低減
- ・ 電気と給湯の需要に対応
- ・ 発電・熱取得併用パネルで屋上スペースを有効利用

【主な利用施設】

ヘルスケア施設
(老人・介護施設、病院)

飲食店舗施設
(郊外型店舗、沿道型店舗)

住宅施設
(戸建住宅、集合住宅)

【太陽光ハイブリッド設置写真】



▲太陽光ハイブリッドパネルの外観は太陽光発電パネルと類似



▲太陽熱電池パネルの裏面に熱取得装置を搭載

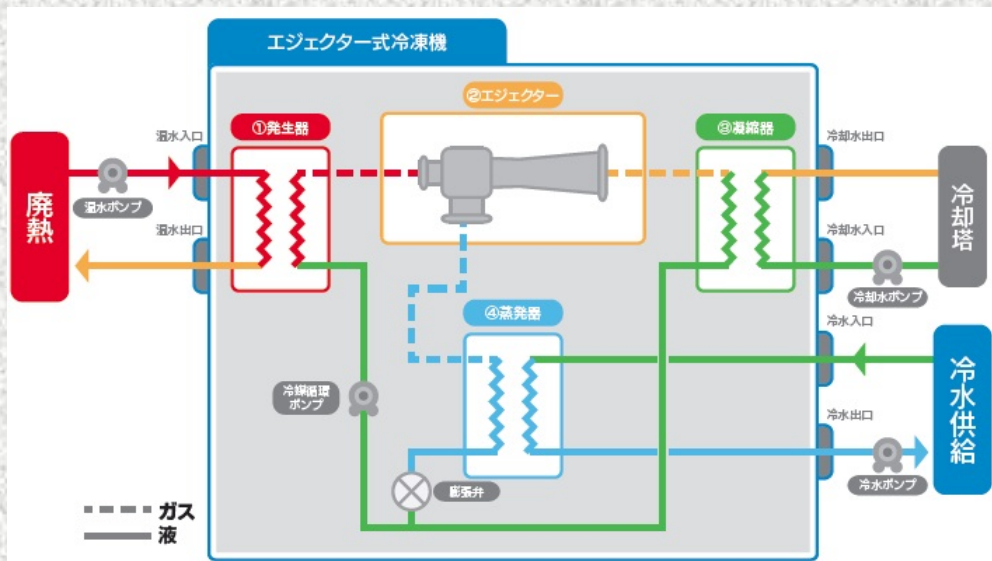
エジェクター式冷凍機

“エジェクター式冷凍機”とは？

■各種排熱や太陽熱などの温水を利用して駆動する、小型冷凍機

■日比谷総合設備のエジェクター式冷凍機のメリット

- ・熱エネルギーの有効活用を実現
- ・優れた耐久性
- ・ランニング&メンテナンスコストの削減 等



エジェクター式冷凍機の仕組み

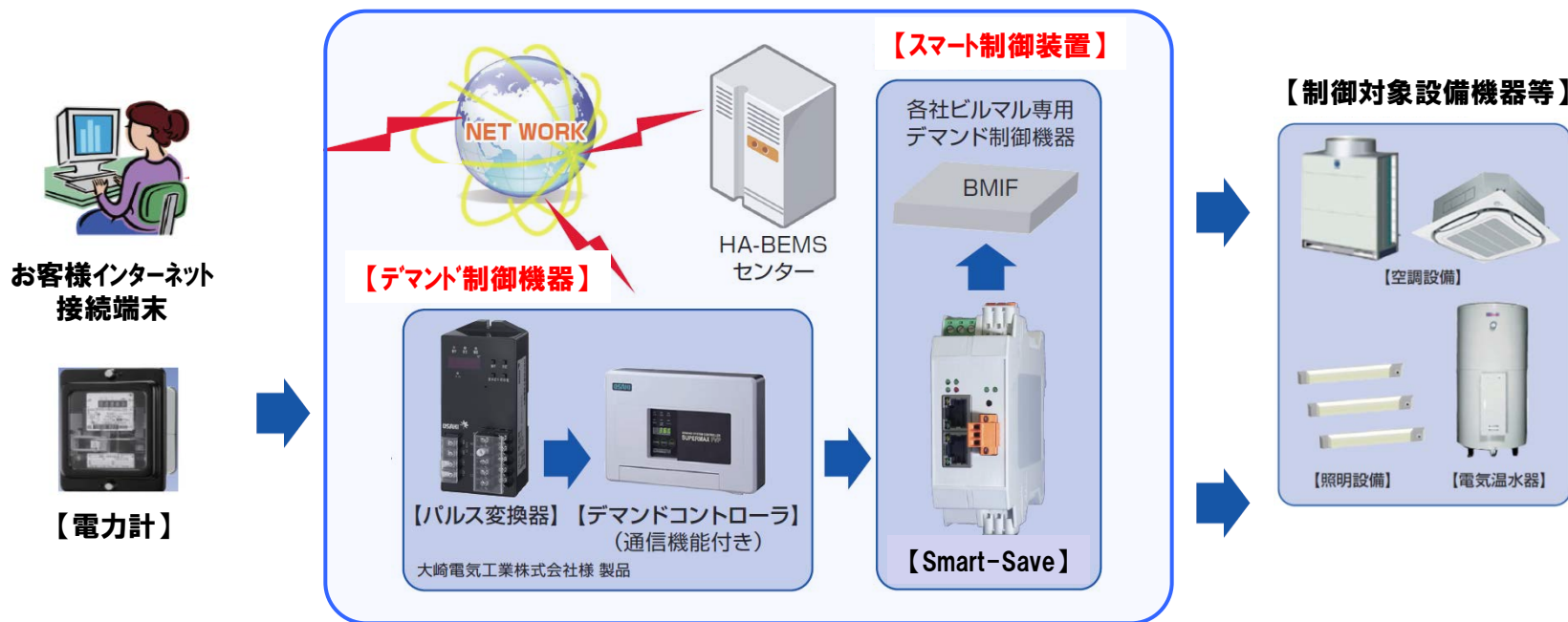
- ①発生器
各種廃熱や太陽熱を利用して、発生器で蒸気(ガス)を発生させます。
- ②エジェクター
発生器からの蒸気(ガス)をエジェクターへ送り込み、その際のエジェクターの誘引効果により蒸発器を真空(負圧)にします。
- ③凝縮器
エジェクターから排出された蒸気(ガス)を凝縮器で液化します。液化した冷媒は冷媒循環ポンプにより、再び発生器へ送り込まれます。
- ④蒸発器
凝縮器で液化された冷媒の一部は、膨張弁をとおして低圧となっている蒸発器に送り込まれます。冷媒は蒸発器内で蒸発し、その際に生じる蒸発潜熱を利用して、冷水を生成します。

■当社独自開発のエネルギー管理システム

■「見える化」の一步先をゆくスマートな省エネを実現

- ・ 「見える化」機能に加え、スマートに設備機器を制御し、省エネ、節電を低コストで提供
- ・ 電気料金削減目標20%

HA-BEMSの構成イメージ



- ・ Smart-Save(負荷制御ユニット)で使用電力を効果的にコントロール
- ・ 中小、多拠点事業所のエネルギー管理に有効

【参考資料】

スマート・ライティング・コントローラ

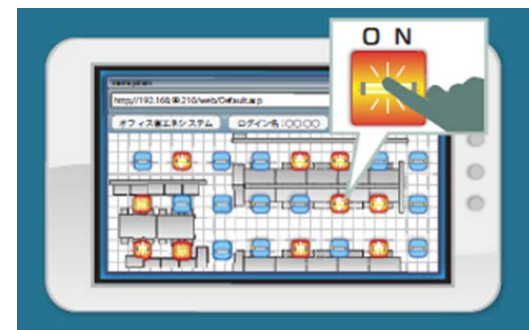
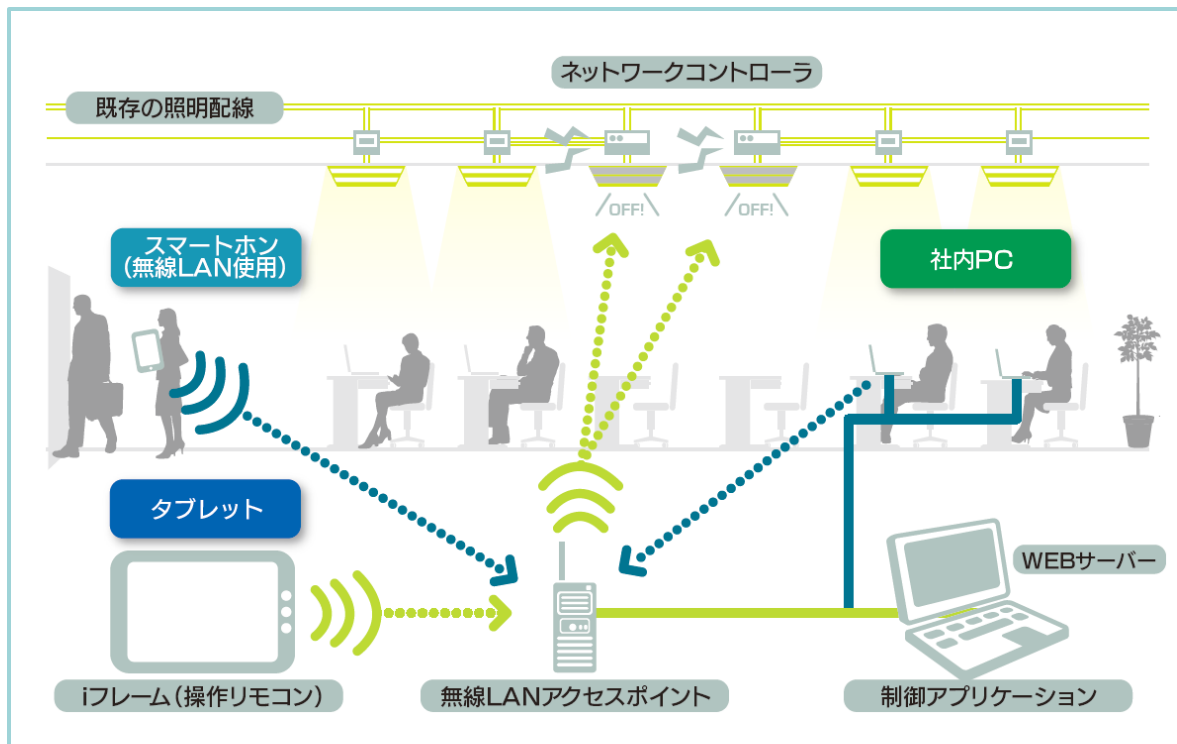
* 当社商標登録済



■ パソコンやスマートフォンからの制御信号を無線LAN経由で
1灯ずつ点・消灯し、大幅節電が可能なシステムを開発

■ 新規の電源配線・信号配線不要のため施工が容易

→ 主に既存ビルをターゲット販売促進中

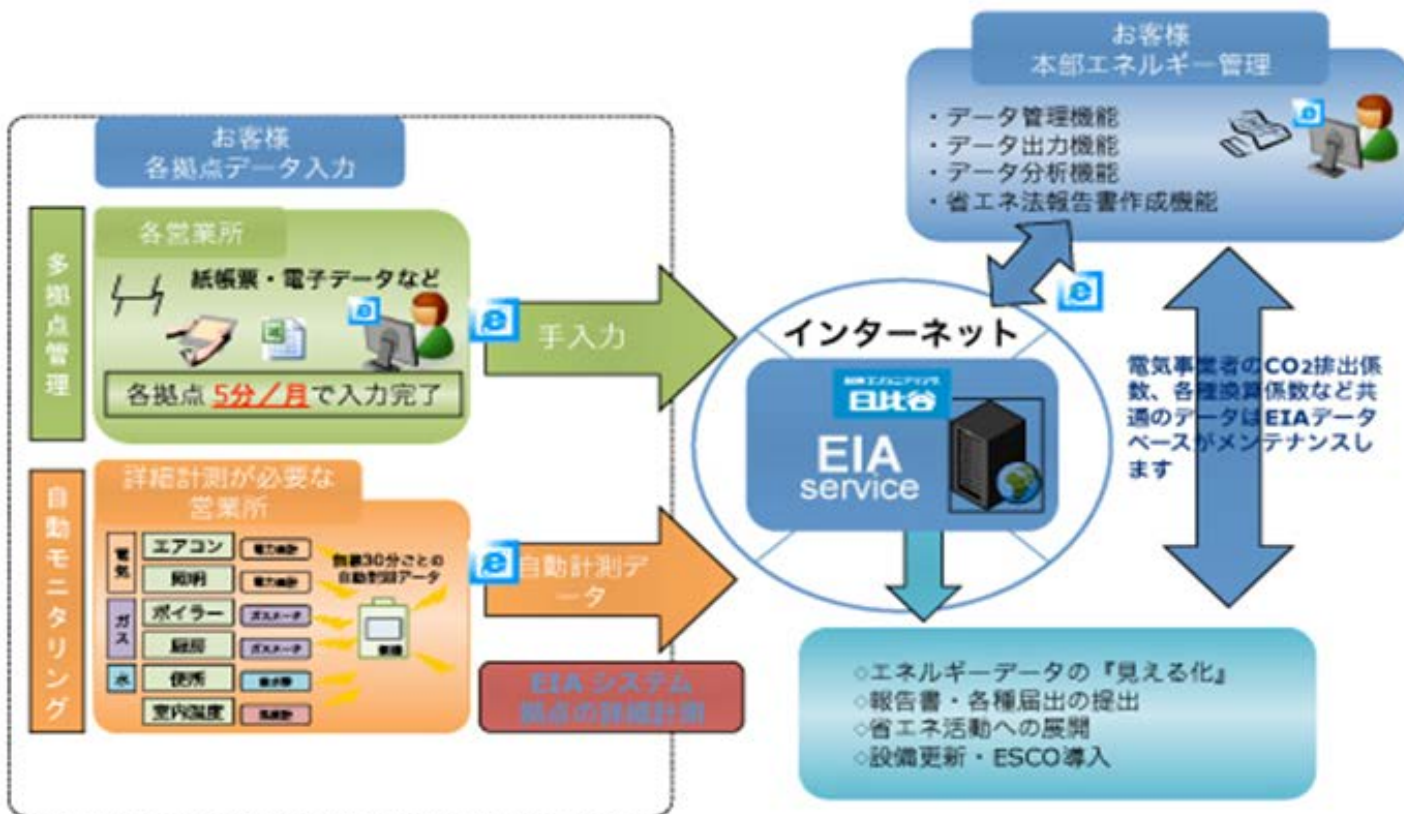


タブレット端末、スマートフォン、
iフレームでの画面タッチで
ON/OFF

EIA(エネルギー使用状況見える化システム)

■エネルギー使用状況を「見える化」することにより、無駄や非効率を発見し、省エネルギーに繋げる

■EIAはお客様のエネルギー使用量を一元管理し、省エネルギー活動を支援



■ 完全人工光型植物工場の受注・施工例

ワンストップサービスの提供

日比谷グループ

- ・温湿度、照明制御設備等の設計・施工
- ・栽培用架台等製作
- ・作業用クリーンウェア販売

提携・協業会社

- ・制御監視システム
- ・設備メンテナンス

アグリベンチャー企業 大学研究所

- ・栽培技術の開発
- ・運営指導・アドバイス等

完全人工光型植物工場

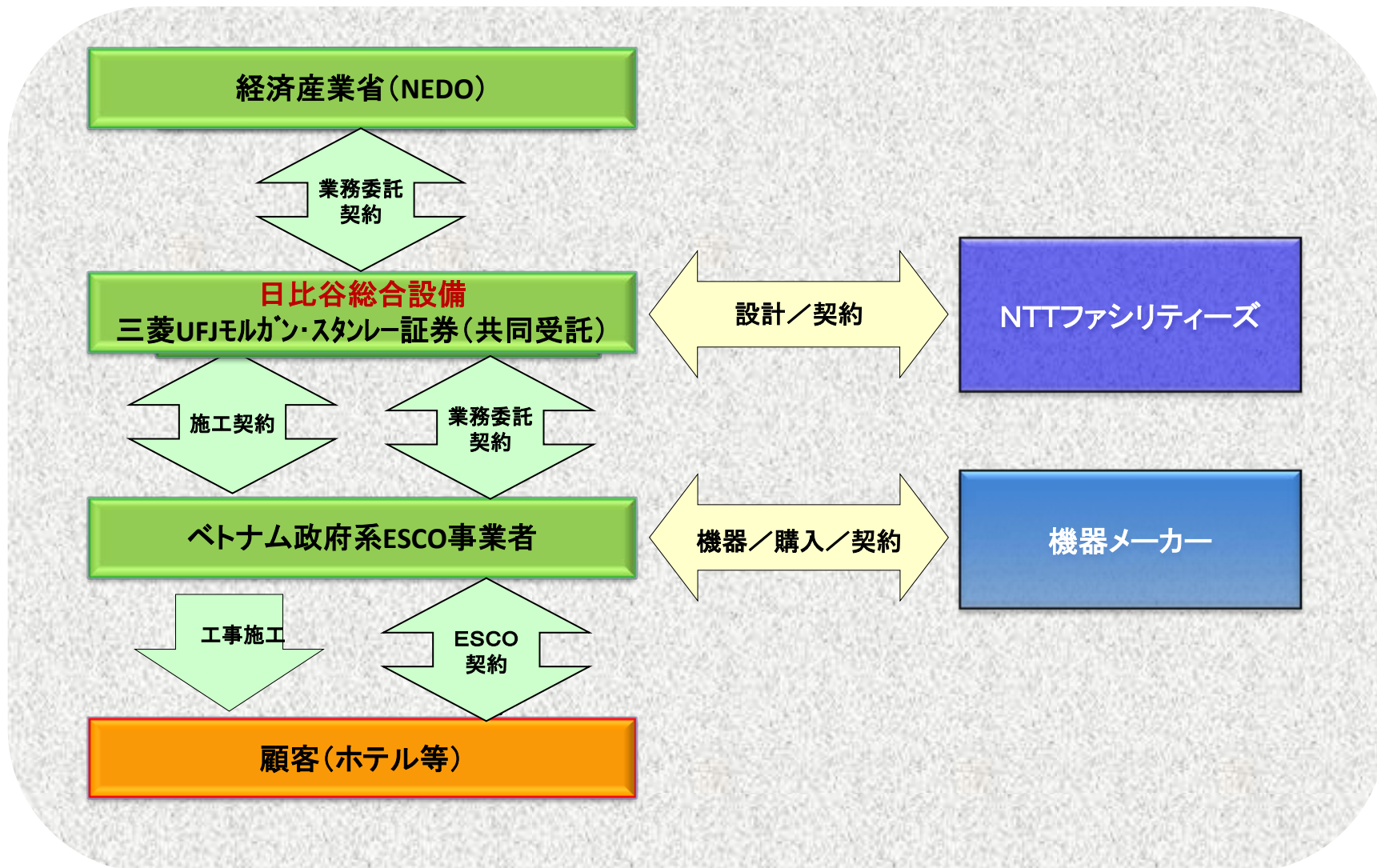
- ・低利用・遊休施設(工場等)の有効活用
- ・生育環境を人工的に制御(季節等に関係なく計画生産が可能)
- ・無農薬(安心・安全)
- ・人工光にはCCFLを使用(長寿命・省電力・低コスト照明機器)



▲ (株)オーレック様のイチゴ栽培工場外観

※イチゴ栽培工場は、葉物中心の植物工場にあって先進的

■ ベトナムパイロット事業プロジェクトスキーム図



時代にまっすぐ、技術にまじめです。

第2四半期 決算説明会

日比谷総合設備株式会社

2013年11月15日

【ご注意】本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなくリスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、本資料の予想数値とは異なる可能性があります。